

建設部会長報告

第3回建設部会は、9月11日ホール80において、「建設業の担い手確保・育成等に係る支援策」をテーマに部会員16名が出席し開催しました。

初めに、秋田県建設産業担い手確保育成センター女性活躍推進担当の森山千恵子氏、教育・訓練機関連携担当の三浦寿哉氏より、センターの取組について説明いただきました。

森山氏は女性活躍を推進する取組について、「県内2つの建設業協会女性部が担い手確保や建設業のイメージアップを目的に建設女子会の開催と先進事例の視察を実施したほか、女性技術者のスキルアップを目的とし、ドローン体験交流セミナーやモデル工事発注を行っている。また、今秋『あきた建設産業女性活躍ネットワーク（仮称）』を設立予定。女性の働きやすい職場は、ワークライフバランスを重視する今の若者のニーズと合致し、求人の応募増加や離職防止にもつながるので、時間と費用はかかるが積極的に取り組んでほしい」と述べられました。



三浦氏は新卒を採用する取組について、「元工業高校の教員が推進員として、県内の高校47校（延べ71回）訪問や、建設企業出前説明会を開催し、高校との連携強化に努めている。先生の中には、例えば土木工事一式などの職業内容を答えられない人もいます。企業はもっと積極的に高校を訪問し、先生や保護者にアピールすることが重要。我々推進員との訪問も可能なので相談してほしい」と述べられました。

続いて、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部秋田職業能力開発促進センターポリテクセンター秋田訓練課長の平野直樹氏より、センターの取組について説明いただきました。平野氏は「建設業の技術者にも高齢化が進んでおり、ベテランの技術に代わる最先端ツール『BIM』が今後重要となる。BIMとは、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築するもの。今年11月に東北では秋田が初めてセミナーを開催するので参加してほしい。今後も継続して先進的な研修を開催し、情報を発信していきたい」と述べられました。



最後に、秋田県あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課女性活躍・両立支援班主査の柏崎綾子氏、主事の山岡彩音氏より、「女性登用・職域拡大支援事業費補助金」と「女性活躍・両立支援実践企業奨励事業費補助金」について説明いただき、「いずれも使いやすい補助金となっているので、活用してほしい」と述べられました。



以上が建設部会からの報告です。